**高槻の高齢社会をよくする会2015年度活動方針**

今年度は社会保障制度の改革が行われ、介護保険制度の改定が行われました。10年後には65才以上の高齢者が国民の3人に1人と増える事態に備え、その費用負担と介護負担の増加を抑えるため「公平化・効率化・重点化」の言葉が目立ちます。要約するには少し乱暴ですが、自己負担が増え、重度の人への医療と介護サービスを強化し、在宅で医療と介護の連携とボランティアの協力を得て効率的に支えるということでしょうか。そして今後10年かけて「地域包括ケアシステム」作りに取り組む、やさしく言うと「地域ぐるみの支えあい」を作り上げようというものです。

在宅で尊厳をもって生きられる社会を目指してきた「よくする会」にとって、少し制度が追い付いてきた感があります。先進的に取り組んできた私たちの活動を今年も着実に進めたいと思います。会員互助活動の「ありんこの会」活動は、少しづつですが利用者が増えています。地域で支えあう一つのモデルとして活動の幅を拡げていく必要があります。

* 2015年度の具体的活動方針について以下のようにまとめました。

**1. 心身ともに健康を維持し、生きがいや働きがいを見出すため、会員が地域**

**で上手につながって助け合う仕組みを創る。**

イ．井戸端会(塚原地区第2火曜日、南平台地区第3金曜日)を毎月開催して地域の仲間づくりを行う。

ロ．毎月第3土曜日につどいの家「はむろ」で午前は運営委員会を開き、午後には学習や交流のための行事を企画する。行事に参加しやすくするために送迎体制を整える。また、会員の要望を聞いて企画を充実させるため、運営委員会への参加を求める。

ハ．辻光文さんが育んだ「福祉ステーション　えにし庵」(塚原６丁目)を拠点とした活動

に参加し、支援する。

 ニ．NPOフェスタに参加し、高槻の行政やNPO団体との共同活動を進める。

 ホ．「よくする会祭り」を年一回行い、会員や地域との交流を図る。

**2. 病気や障がいを負っても互いに尊厳をもって生きられるよう、「弱さ」を共有**

**して支えあい共に成長していく。**

イ．つどいの家「はむろ」の介護事業と予防活動を充実させ、ケアの質を高める。スタッフの世代交代を意識してその成長を図る。

ロ．会員互助活動「ありんこの会」の活動を更に拡げて、互助活動の実績を作りつつ

会員も増やす。

ハ．「認知症を理解し地域で支える会」の活動に引き続き参加し、認知症本人とその家族支援に貢献する。

12